

VOICES from the ARCTIC

Vol.50 / 2025.3.19

ArCS II 国際政治課題
北極域実践コミュニティ事務局



グリーンランドの指導者 デンマークからの独立に向けた動きを強化

グリーンランドのMute Egede首相は新年の演説で、かつての植民地支配者であるデンマークからの独立を追求する意向を強調し、北極域の島国の将来をめぐる論調に大きな変化が現れた。Egede首相の新年の挨拶は、ドナルド・トランプ次期米大統領がグリーンランドの「所有と支配」を望むと発言した直後に発表されたもので、グリーンランドが他国との協力を強化したいという希望も表明された。記事参照：Greenland's leader steps up push for independence from Denmark - ArcticToday (2025.1.6/Arctic Today)

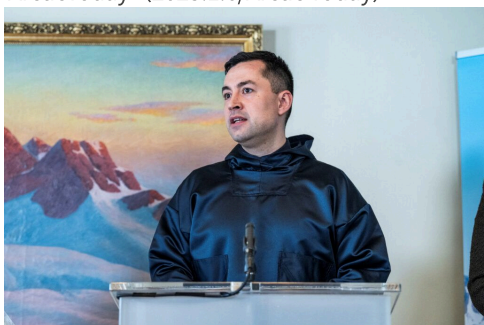


Photo: 2024年3月15日、グリーンランドのヌークで欧州委員会の新事務所の開所式が行われ、グリーンランドのMute Bourup Egede首相が記者会見で演説した。Ritzau Scanpix/Leiff Josefsen via REUTERS/File Photo

トランプ氏のグリーンランド 購入計画 1868年以来の米国の野望

ドナルド・トランプ次期大統領がグリーンランド購入のアイデアを再び持ち出した際には、嘲笑から興味までさまざまな反応が見られた。評論家たちは、トランプ氏の奇抜な提案のひとつに過ぎないと一蹴した。しかし、歴史を紐解くと米国のグリーンランドに対する関心は決して新しいものではなく、1世紀以上も前から続く戦略であることが分かる。

19世紀の領土的野望から冷戦期の軍事的優先事項に至るまで、グリーンランドは繰り返し米国の政策立案者の注目を集めてきた。しかし、米国がグリーンランドを戦略的資産として注目する一方で、この島を取り巻く政治的および法的力学は、時とともに大きく変化してきた。現在、グリーンランドは自治権を持ち、デンマークからの独立を宣言する権利を有しており、このような議論の条件を根本的に変えている。

記事参照：Trump's Greenland purchase plan has been a US ambition since 1868 - ArcticToday (2025.1.6/Arctic Today)

トランプ氏がグリーンランド 領有権獲得を狙う中、 グリーンランド指導者がデン マーク国王と会談へ

ドナルド・トランプ次期米大統領がデンマークの自治領である北極域の島、グリーンランドの領有化を宣言したことを受け、グリーンランドの首相が水曜日にコペンハーゲンでデンマーク国王と会談する。

1月20日に就任するトランプ氏は火曜日、グリーンランドを米国の一部とするため、デンマークに対して軍事的または経済的な措置をとる可能性を排除しないと述べた。同日、彼の長男ドナルド・トランプ・ジュニア氏は、資源が豊富なこの島を私的に訪問した。
記事参照：Greenland leader to meet Danish king amid Trump bid to take over territory - ArcticToday (2025.1.8/Arctic Today)

グリーンランド首相、米国との防衛および鉱業分野でのより緊密な関係を模索



グリーンランドのEgede首相は月曜日に開かれた記者会見で、国防や北極の島の鉱物資源の探査の分野において、米国とより緊密に協力していきたいと述べた。

記事参照：Greenland seeks closer defence, mining ties with the US, says prime minister - ArcticToday (2025.1.13/Arctic Today)

グリーンランドの鉱物資源が 世界の注目を集める中、 Amaroq Mineralsの株価が 急騰

NASDAQアイスランドに上場しているアイスランド企業、Amaroq Minerals Ltd. (AMRQ) は、ドナルド・トランプ次期大統領がグリーンランドに関心を示したことを受け、株価が急騰している。Amaroqの株価は本日、110.50 ISKで取引を終え、昨日から3.61%上昇し、過去1か月間では17.54%も上昇した。この急騰は、グリーンランドで事業を展開する企業に対する投資家の関心が高まっていることを示唆している。同社は、グリーンランド南部のナルナク金鉱山プロジェクトを主力事業としており、本格的な生産に向けて進展していることから注目を集めている。
記事参照：Amaroq Minerals stock surges as Greenland's mineral wealth enters the global crosshairs - ArcticToday (2025.1.9/Arctic Today)



AMRQのCEO、Eldur Olafsson氏が、同社のナルナク鉱山で採掘された金塊を手をしている。(アマロク・ミネラルズ)

クレムリン、グリーンランドとカナダに関するトランプの発言について、ロシアは北極域に利害関係があると主張

クレムリン（ロシア連邦政府）は木曜日、ドナルド・トランプ次期米大統領がグリーンランドの獲得、カナダの吸収、パナマ運河の支配について発言したことについてコメントを求められた際、ロシアには北極圏における戦略的な国益があると述べた。

1月20日に就任するトランプ氏は、選挙で勝利して以来推進してきた広範な拡張主義的計画の一部として、パナマ運河とグリーンランドの獲得を追求するために軍事的または経済的な行動を取る可能性を排除していない。記事参照：Kremlin, on Trump remarks on Greenland and Canada, says Russia has Arctic interests - ArcticToday (2025.1.9/Arctic Today)

ロシアの北極域の石油産業に暗雲が立ち込める

米国財務省が1月10日に発表したロシアに対する制裁パッケージには、ロシアの北極域における炭化水素開発に関与する主要採掘企業、インフラ施設、船舶のほぼすべてが含まれている。この措置により、同地域の石油産業の大部分が麻痺する可能性がある。

記事参照：Paralysis looms over Russia's Arctic oil - ArcticToday (2025.1.14/Arctic Today)

グリーンランド人の85%が米国への合併に反対との最新世論調査

グリーンランドの新聞Sermitsiaqが発表した最新世論調査によると、グリーンランド人の圧倒的多数（85%）が、グリーンランドがデンマーク王国（Rigsfællesskabet）から離脱して米国の一部となるという考えを拒絶している。調査は、調査機関VerianがSermitsiaqとデンマークの新聞Berlingskeと共同で実施したもので、ドナルド・トランプ氏の「グリーンランド人が米国への加入を望んでいる」という主張を明確に否定する結果となった。記事参照：85% of Greenlanders oppose joining the U.S. according to new poll - ArcticToday (2025.1.29/Arctic Today)

2024年、EUのロシア産LNGへの依存が高まる、その大半は北極圏から



High North Newsによると、2024年、欧州連合（EU）のロシア産液化天然ガス（LNG）の輸入量が過去最高を記録した。この事態は、LNGの相当な部分が北極域から供給されていることから、地政学的な緊張が高まる中、EUのエネルギー戦略が複雑化していることを示している。

記事参照：EU's reliance on Russian LNG grows in 2024, much of it from the Arctic - ArcticToday (2025.1.6/Arctic Today)

北極海航路の船舶輸送量、 計画を大きく下回る

プーチン大統領は長年、北極海航路の年間輸送量を2024年までに8,000万tに増やすべきだと主張してきたが、結果は3,790万tであった。彼は北極海航路に大きな野望を抱いているが、その計画は実現にはほど遠い。
記事参照：Shipping on Northern Sea Route lags far behind plans - ArcticToday (2025.1.14/Arctic Today)

トランプ氏、沿岸警備隊に40 隻の砕氷船新造を提案

Maritime Executive 誌は、ドナルド・トランプ米大統領が、米国沿岸警備隊向けに大型砕氷船40隻を発注する計画を発表し、カナダとの協力の可能性もあると報じた。この動きは、米国の両極域での存在感を高めることを目的としているが、実現可能性や資金調達について疑問が呈されている。

記事参照：Trump proposes 40 new icebreakers for Coast Guard - ArcticToday (2025.1.31/Arctic Today)



南極大陸のマクマード湾で、沿岸警備隊の砕氷船ポーラースター号の近くに立つ好奇心旺盛なアデリーペンギン。
(Grant DeVuyst/ 米国沿岸警備隊)

米国の制裁の対象は新ムルマ ンスク港

ラヴナ港は、ロシア企業が貿易の方向性を変え、国際制裁を回避するために建設された。そして今、コラ湾の壮大なインフラプロジェクト自体が制裁リストに載ることとなった。「ラヴナの深海港は、ロシアの対外貿易の方向転換における重要なプロジェクトのひとつである」と、2023年に国家開発会社VEBのIgor Shuvalyev代表は述べた。また、「ラヴナは北極海航路における輸出品の出荷にとって重要となるだろう」と元副首相は強調した。

記事参照：US sanctions target new Murmansk seaport - ArcticToday (2025.1.15/Arctic Today)

故障した砕氷船、高額な 代償：沿岸警備隊による1億 2500万ドルの砕氷船購入をめ ぐる論争

ProPublicaは、設計上の欠陥と運用上の失敗の歴史を持つ砕氷船Aiviqの購入をめぐる論争について、詳細な調査結果を公表した。記事では、この船の信頼性に対する懸念、米国沿岸警備隊による購入決定に影響を与えた政治的圧力、同船の信頼性、米国沿岸警備隊による同船取得の決定に影響を与えた政治的圧力、米国の北極戦略へのより広範な影響について、詳細に説明している。

記事参照：Broken icebreaker, big price tag: Controversy over U.S. Coast Guard's \$125 million purchase - ArcticToday (2025.1.24/Arctic Today)

Dunleavy知事と行政高官、 トランプ大統領のアラスカ 政策を称賛

Mike Dunleavy知事と彼の政権の複数の高官は水曜日、アラスカ州における資源採取の制限を撤廃するドナルド・トランプ大統領が発令した新たな大統領令を称賛した。

トランプ大統領がホワイトハウスに復帰したことは、北極域での石油採掘、南東アラスカでの伐採、そして州全域での鉱業やその他の資源採掘を意味する、と知事と政権高官らは水曜日の記者会見で述べた。

記事参照：Gov. Dunleavy and administration officials applaud Trump's Alaska policies - ArcticToday (2025.1.23/Arctic Today)

「この地域を愛する気持ちが 失われてしまわないように」 観光客の急増が北極域の野生 生物に影響をおよぼす



かつて北極域は、地球上で最も辺境で人の手が加えられていない地域の一つと考えられていたが、その状況は急速に変化している。最近、グリーンランドでは過去最高の観光客数を記録し、ドラマチックな景観や氷河、北極域の野生動物との遭遇を求めて、かつてないほど多くの観光客が北方に向かっている。探検クルーズ、ホエールウォッチングの船、豪華砕氷船ツアーは経済的利益をもたらしているが、環境への懸念も生じている。

記事参照：'Don't love it to death'—tourism surge impacting Arctic wildlife - ArcticToday (2025.1.30/Arctic Today)

『北極域実践コミュニティ VOICES from the ARCTIC』は、北極域実践コミュニティの情報発信の活動の一環として、北極域の多岐にわたる社会的課題やその解決に向けた取組に関連するニュースを集めて、ダイジェストしたものです。北極域の社会的課題と世界的な課題との関連性を示すため、国際連合『持続可能な開発目標（SDGs）』の17の目標との対応関係を各ニュースに付しています。

【編集後記】

Vol.50は、2025年1月のニュースを掲載しています。2025年3月にArCS II プロジェクトが終了することに伴い、Voices from the ARCTICも本号をもって最終号となります。これまで閲覧頂きまして感謝いたします。また別の機会に皆様に北極域のニュースをお届けできるようになりましたら幸いです。（事務局一同）

発行元：ArCS II 国際政治課題 北極域実践コミュニティ事務局
 監 修：大西富士夫（北海道大学北極域研究センター）
 E-mail：tdcop@arc.hokudai.ac.jp
 WEBサイト：<https://tdcop.arc.hokudai.ac.jp/>

